

関西経済レポート

消費の一部に経済対策の効果が現れている。輸出、生産は下げ止まっているものの、回復の動きは遅い。雇用情勢は依然として厳しい情勢が続いており、消費も全体として弱い動きが続いている。企業の設備投資計画も減少。

全体として、底入れの兆しはあるものの絶対水準は低く、厳しい情勢が続いており、先行きはまだ不透明。

2009年12月1日

関経連経済調査部

～目次～

政府・日銀の景況判断	1
生産、大口電力需要	2
輸出入	4
個人消費	7
住宅投資	9
設備投資	10
公共事業、株価為替の動き	11
倒産	12
雇用	13

～政府・日銀の景気判断～

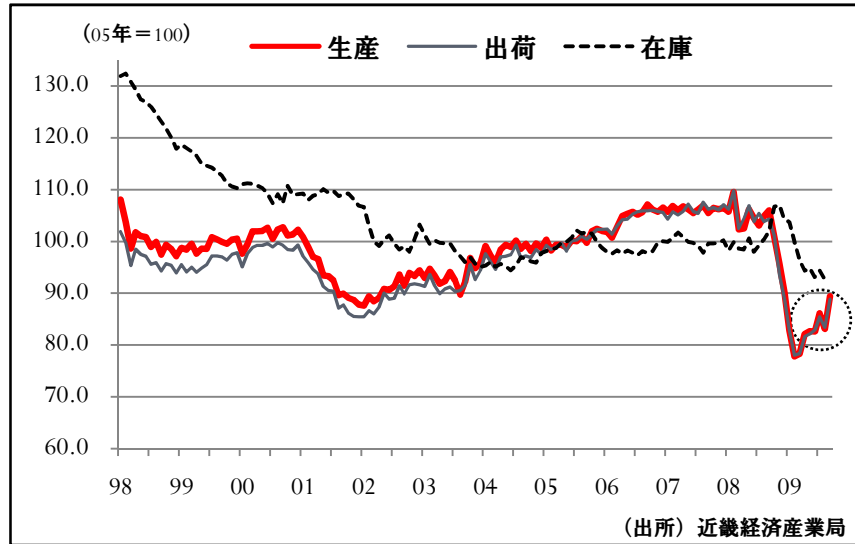
	近畿	近畿地区金融経済概況 日銀大阪支店	中部	金融経済月報 日銀名古屋支店	全国	金融経済月報 日銀	全国	月例経済報告 内閣府
2008年9月	⇒	減速している。	⇒	なお高水準を保っているものの、はっきりとした減速が続いている。	⇒	停滞している。	⇒	このところ弱含んでいる。
2008年10月	↘	停滞している。	↘	高水準を保ちつつも、下降局面にある。	⇒	停滞している。	↘	弱まっている。
2008年11月	⇒	停滞している。	⇒	高水準を保ちつつも、下降局面にある。	↘	停滞色が強まっている。	↘	弱まっている。さらに下押し圧力が急速に高まっている。
2008年12月	↘	停滞色を強めている。	↘	急速に下降している。	↘	悪化している。	↘	悪化している。
2009年1月	↘	悪化している。	⇒	急速に下降している。	↘	大幅に悪化している。	↘	急速に悪化している。
2009年2月	↘	大幅に悪化している。	⇒	急速に下降している。	⇒	大幅に悪化している。	↘	急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。
2009年3月	⇒	大幅に悪化している。	⇒	急速に下降している。	⇒	大幅に悪化している。	⇒	急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。
2009年4月	↘	大幅に悪化しており、厳しい状況にある。	⇒	急速に下降している。	⇒	大幅に悪化している。	⇒	急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。
2009年5月	⇒	大幅に悪化しており、厳しい状況にある。	↗	引き続き下降しているが、その度合いは緩やかになっている。	↗	わが国の景気は悪化を続けているが、輸出や生産は下げ止まりつつある。	↗	景気は、厳しい状況にあるものの、このところ悪化のテンポが緩やかになっている。
2009年6月	↗	厳しい状況にあるが、悪化のテンポは和らいできている。	↗	輸出と生産の持ち直し等から、下げ止まりつつある。	↗	大幅に悪化したあと、下げ止まりつつある。	↗	厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きが見られる。
2009年7月	↗	なお厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。	↗	輸出と生産の持ち直し等から、下げ止まっている。	↗	わが国の景気は下げ止まっている。	↗	厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。
2009年8月	⇒	なお厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。	⇒	輸出と生産の持ち直し等から、下げ止まっている。	⇒	わが国の景気は下げ止まっている。	⇒	厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。
2009年9月	↗	なお厳しい状況にあるが、下げ止まっている。	↗	東海3県の景気は、持ち直しつつある。	↗	わが国の景気は持ち直しに転じつつある。	⇒	失業率が過去最高水準となるなど厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。
2009年10月	↗	近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、持ち直しの動きがみられる。	⇒	東海3県の景気は、持ち直しつつある。	↗	わが国の景気は持ち直しつつある。	↗	景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2009年11月	⇒	近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、持ち直しの動きがみられる。	⇒	東海3県の景気は、持ち直しつつある。	↗	わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直している。	⇒	景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。

○日銀大阪支店は11月の景況判断を「雇用面などに厳しさを残しつつも、持ち直しの動きがみられる。」とした。（10月から継続）

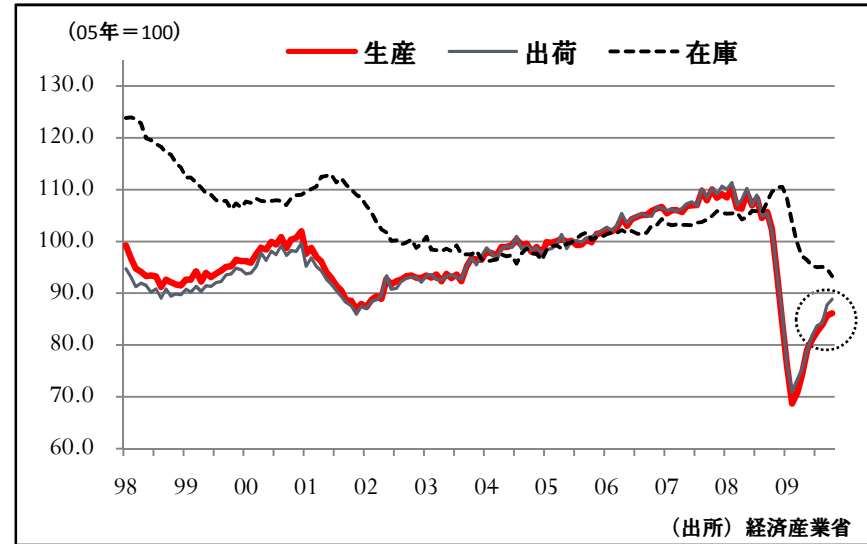
「輸出や生産は、世界的な金融危機の影響から大きく落ち込んだ後、持ち直している。しかし、内需についてみると、設備投資は、企業収益が依然厳しい水準にあるもとの、減少している。また、個人消費も、耐久消費財に政策効果がみられるものの、雇用者所得の減少が続く中、総じて弱めの動きを続けている。この間、公共投資は増加している。」とした。

～生産～

鉱工業指数の推移（近畿 09年9月確報まで）



鉱工業指数の推移（全国 09年10月速報まで）



業種別鉱工業
生産指数
(前月比、%)

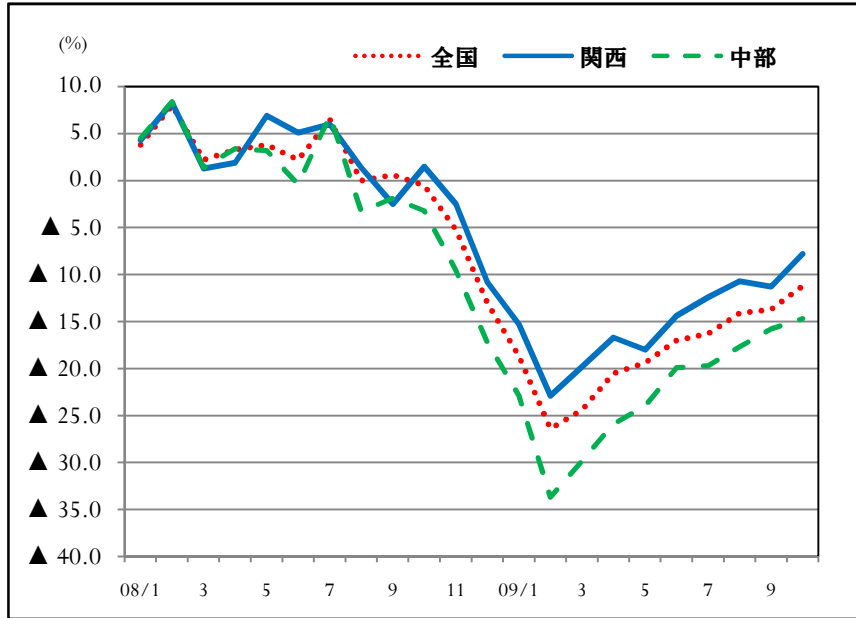
	全体	鉄鋼	金属製品	一般機械	電気機械	情報通信機械	電子部品・デバイス	輸送機械	化学	食品	たばこ
近畿6月	▲0.1	8.1	▲3.3	▲20.6	5.8	5.4	20.8	3.9	0.7	1.6	
近畿7月	4.2	6.0	11.5	22.3	3.7	0.2	▲12.1	3.5	5.3	▲1.1	
近畿8月	▲3.5	7.1	▲6.9	▲22.2	▲1.3	27.1	4.8	▲0.6	▲2.3	▲1.1	
近畿9月	7.6	5.8	1.8	42.7	▲1.2	▲4.8	▲0.4	10.4	0.1	1.1	
全国10月	0.5	0.2	2.6	5.7	▲0.8	2.7	▲1.0	0.0			

*網掛は、生産が
前月比プラスの業種

- ・ 近畿の9月（確報）の鉱工業生産指数は、89.4。前月比+7.6%と2カ月ぶりの上昇。
出荷は前月比+6.5%の88.8と2カ月ぶりの上昇。在庫は、前月比▲1.8%の92.6と2カ月ぶりの低下。
生産上昇に寄与したのは、一般機械工業+42.7%、窯業・土石製品工業+16.7%、鉄鋼業+5.8%等。
品目別にみると、ガスタービン、蒸気タービン部品、一般用蒸気タービンの順に上昇に寄与。
- ・ 全国の10月（速報）の鉱工業生産指数は、前月比+0.5%の86.1。8カ月連続の上昇。出荷は、前月比+1.3%と8カ月連続の上昇。
在庫は前月比▲1.5%と2カ月連続の低下。持ち直しの動きで推移している。
業種別では、一般機械工業+5.7%、金属製品工業+2.6%、情報通信機械工業+2.7%等が増加。品目別では、半導体製造装置、蒸気タービン部品、橋りょう、携帯電話等が増加。製造工業生産予測調査によると、11月、12月も上昇の見込み。

～生産～

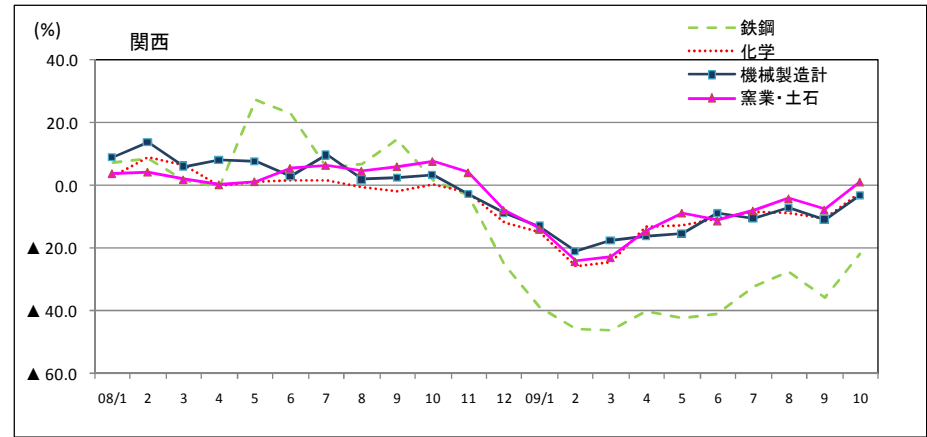
産業用大口電力需要（対前年伸び率・09年10月まで）



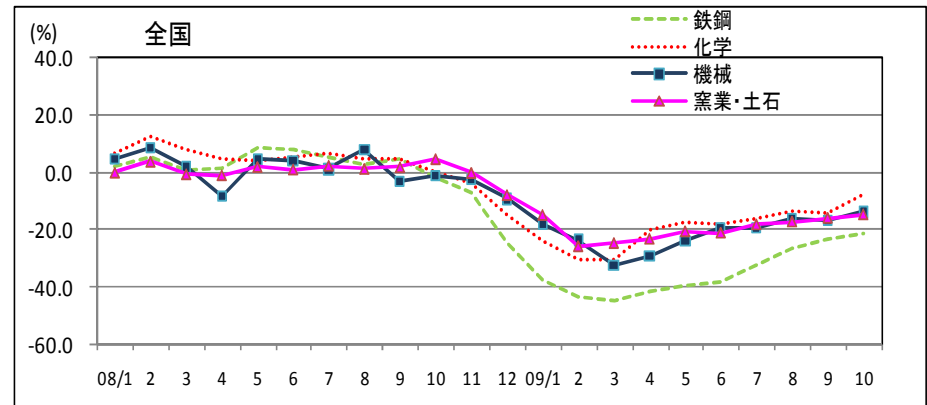
(出所) 電気事業連合会

- ・関西の大口電力実績は、前年比▲7.8%と、12カ月連続で前年実績を下回った。前月(▲11.3%)からマイナス幅は縮小。全国は▲11/2%で前月(▲13.7%)からマイナス幅が縮小。
- ・関西を業種別にみると、主要11業種のうち、「窯業・土石」で10カ月ぶりに前年比プラス。その他10業種で前年比マイナスとなった。

大口電力産業別実績（対前年伸び率・09年10月まで）



(出所) 関西電力



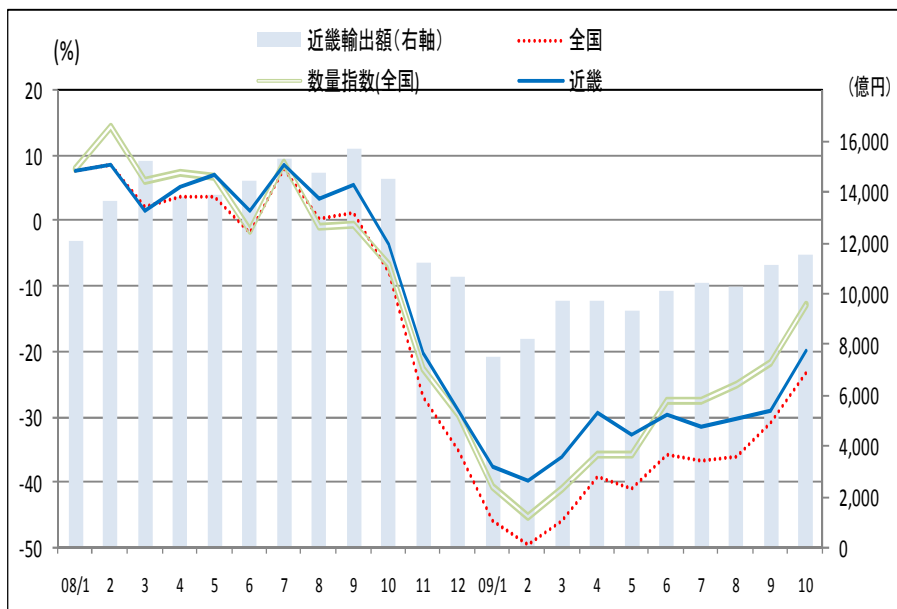
(出所) 電気事業連合会

	食料品	繊維	パルプ・紙	化学	石油・石炭	ゴム製品	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	機械製造計
7月	▲ 2.4	▲ 19.5	▲ 9.3	▲ 8.6	65.4	▲ 17.2	▲ 8.1	▲ 31.9	▲ 25.2	▲ 10.3
8月	▲ 3.9	▲ 18.6	▲ 6.0	▲ 9.1	29.0	▲ 13.8	▲ 4.2	▲ 27.5	▲ 22.9	▲ 7.1
9月	▲ 1.9	▲ 20.6	▲ 6.8	▲ 10.8	13.2	▲ 17.3	▲ 7.8	▲ 35.6	▲ 24.6	▲ 10.7
10月	▲ 2.4	▲ 13.3	▲ 6.5	▲ 2.4	▲ 14.8	▲ 15.6	1.1	▲ 21.7	▲ 20.6	▲ 3.1

* 網掛は、前月からマイナス幅が縮小した業種

～輸出～

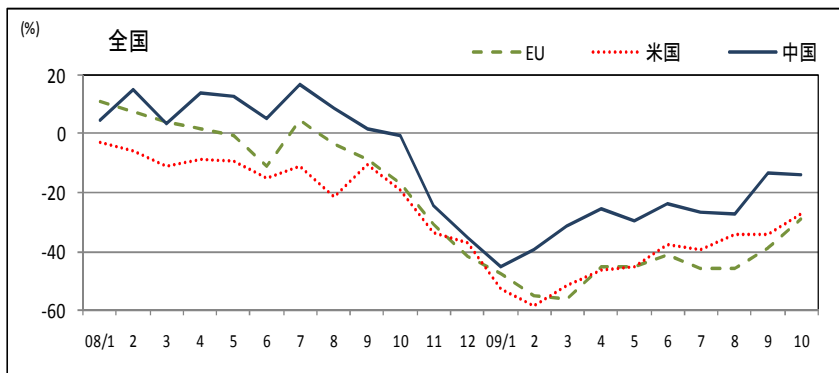
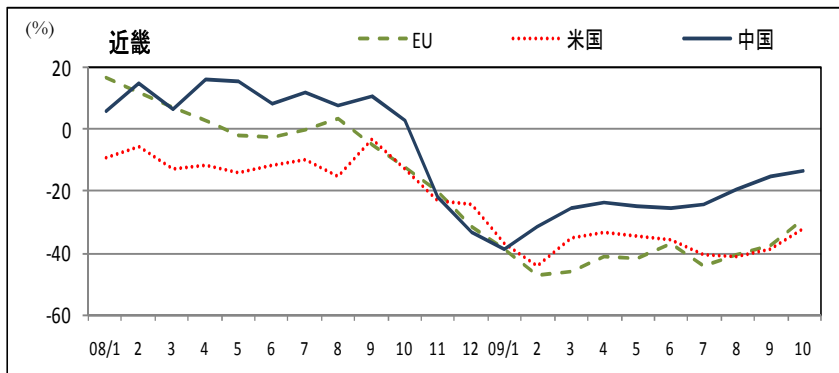
輸出金額・前年同月比増減率推移（09年10月速報まで）



○近畿の月次の輸出動向（09年10月速報まで）

- ・09年10月の近畿の輸出額は、前年同月比▲20.1%と13カ月連続のマイナス。前月（▲29.0%）からマイナス幅は縮小。
- ・地域別では、アジア▲10.9%、中国▲13.6%、EU▲28.8%、米国▲32.5%。すべての主要地域向けでマイナス幅が縮小。
- ・商品別では、鉄鋼が▲40.4%と引き続きマイナス幅が大きく、中国向けフラットロール製品が減少。他には建設用・鉱山用機械、原動機、遊戯用具等の品目が減少。増加したのは、中国・アジア向けのプラスチック、通信機、科学光学機器など。
- ・数量を表す貿易指数(全国10月)は、前年同月比▲13.0%と、3カ月連続で、前月（▲21.8%）からマイナス幅が縮小。

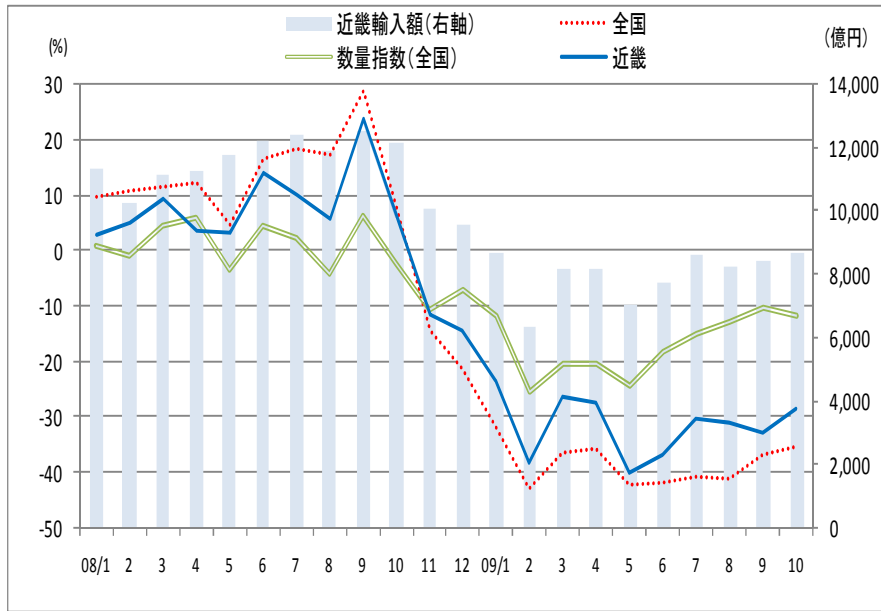
地域別輸出金額前年同月比推移・内容比較



商品名	近畿 品目別動向(前年同月比、%)						
	7月		8月		9月	10月	
全体	▲ 31.6	↗	▲ 30.4	↗	▲ 29.0	↗	▲ 20.1
食料品	▲ 11.4	↘	▲ 20.0	↘	▲ 21.0	↗	0.8
原料品	▲ 24.3	↘	▲ 29.8	↗	▲ 20.0	↗	▲ 14.7
鉱物性燃料	▲ 63.8	↗	▲ 60.3	↗	▲ 47.2	↗	▲ 5.6
化学製品	▲ 17.5	↘	▲ 21.2	↗	▲ 14.5	↗	▲ 2.9
原料別製品	▲ 36.7	↘	▲ 39.5	↗	▲ 39.0	↗	▲ 26.0
一般機械	▲ 46.1	↗	▲ 39.1	↘	▲ 43.2	↗	▲ 36.1
電気機器	▲ 19.0	↘	▲ 20.4	↗	▲ 19.3	↗	▲ 13.3
輸送用機器	▲ 42.9	↗	▲ 41.3	↗	▲ 37.1	↗	▲ 28.9

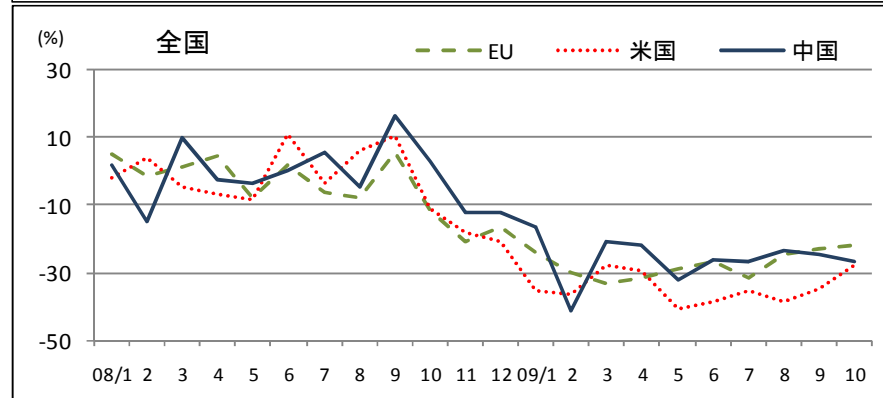
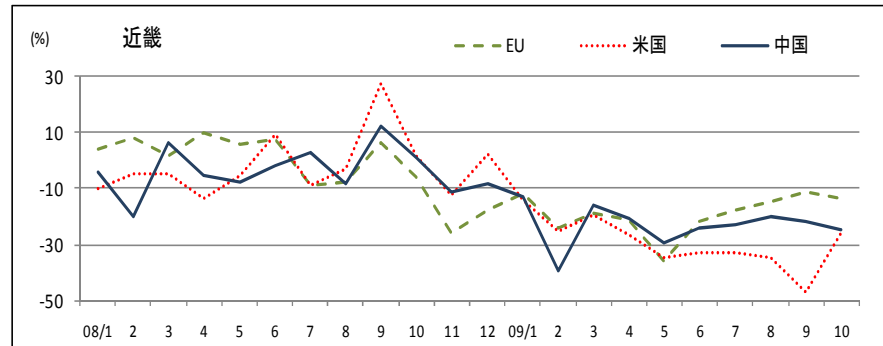
～輸入～

輸入金額・前年同月比増減率推移（09年10月速報まで）



出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿) 資料

地域別輸入金額増減前年同月比推移・内容比較



○近畿の月次の輸入動向（09年10月速報まで）

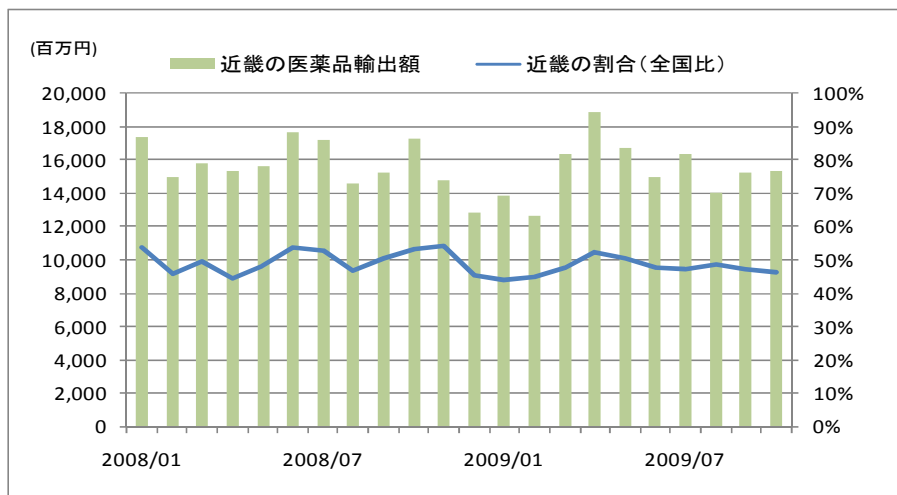
- ・09年10月の近畿の輸入額は前年同月比▲28.4%と12カ月連続のマイナス。前月(▲32.8%)からマイナス幅は縮小。
- ・地域別では、アジア▲24.9%、中国▲24.7%、EU▲13.6%、米国▲25.9%。米国とアジア向けでマイナス幅が縮小。
- ・商品別では、天然ガス及び製造ガス、原油及び粗油、衣類及び同附属品、石炭、等が減少に寄与。増加したのは、医薬品。
- ・数量を表す貿易指数(全国10月)は、前年同月比▲11.7%と、4カ月ぶりに前月(▲10.2%)からマイナス幅が拡大。

商品名	近畿 品目別動向(前年同月比、%)				
	7月	8月	9月	10月	
全体	▲ 30.2	▲ 31.0	▲ 32.8	▲ 28.4	
食料品	▲ 12.0	▲ 24.3	▲ 22.4	▲ 18.4	
原料品	▲ 54.9	▲ 42.4	▲ 55.0	▲ 43.4	
鉱物性燃料	▲ 43.3	▲ 55.0	▲ 55.6	▲ 49.6	
化学製品	▲ 14.5	▲ 6.9	▲ 23.2	▲ 10.0	
原料別製品	▲ 47.0	▲ 45.4	▲ 40.2	▲ 37.4	
一般機械	▲ 43.4	▲ 37.0	▲ 38.0	▲ 37.3	
電気機器	▲ 20.5	▲ 16.8	▲ 16.2	▲ 14.2	
輸送用機器	▲ 27.4	▲ 12.8	▲ 17.5	▲ 33.2	

関西経済トピックス ～医薬品の輸出入動向～

○2009年に入り、近畿全体の輸出入額は減少したものの、医薬品の輸出入額については、昨年同月を上回る月もあり、比較的堅調。

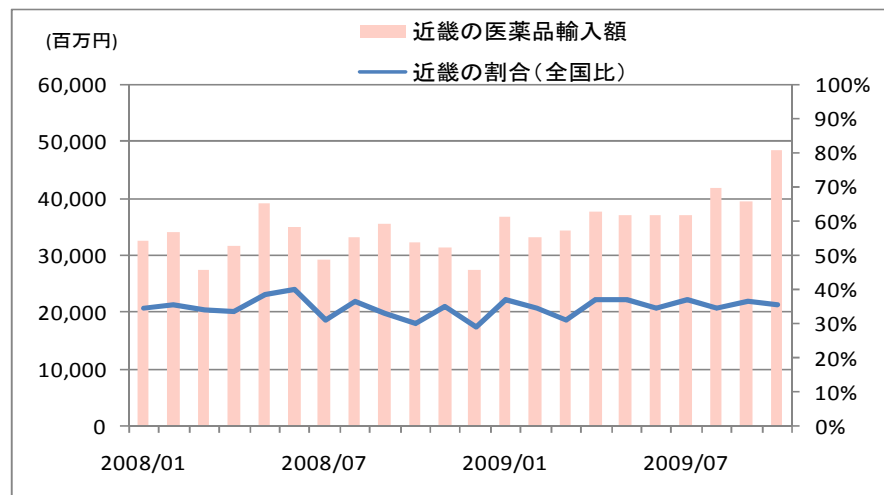
近畿の医薬品輸出額の推移



○近畿の医薬品輸出額は、2008年秋以降、一時落ち込んだものの、2009年に入り増加。最近数カ月、減少傾向にあるものの、輸出全般の落ち込みに比べると堅調。10月の輸出額は154億円、前年同月比▲11.3%。

○10月の近畿の医薬品輸出額は、全国の46.3%と高い割合を占めている。

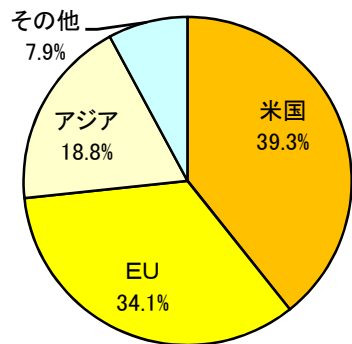
近畿の医薬品輸入額の推移



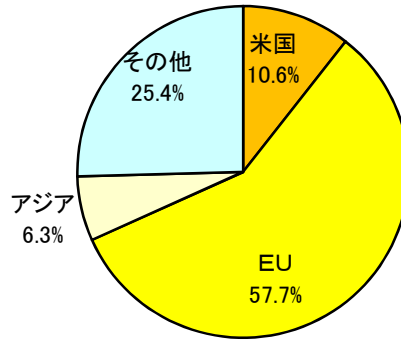
○近畿の医薬品輸入額は、引き続き増加基調にある。
10月の輸入額は484億円と過去最高額。前年同月比+49.8%の増加。

○10月の近畿の医薬品輸入額は全国の35.1%と、高い割合を占めている。

近畿圏の医薬品輸出先 (2008年)



近畿圏の医薬品輸入先 (2008年)

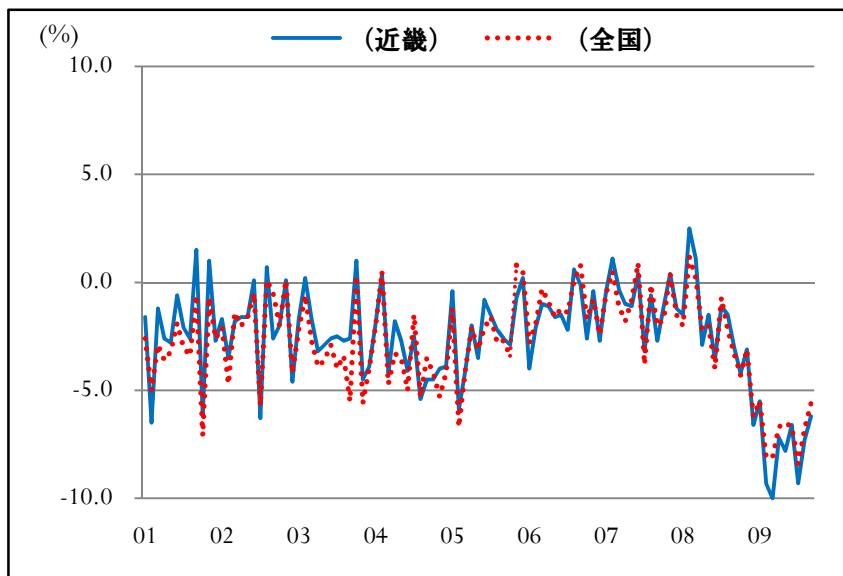


○近畿圏の医薬品は、輸出入とも全国に占める割合は高い。

○輸出入先は、欧米の占める割合が高い。
輸出先は、米国が39.3%、EUが34.1%を占める。
輸入先は、米国が10.5%、EUが57.7%を占める。

～個人消費～

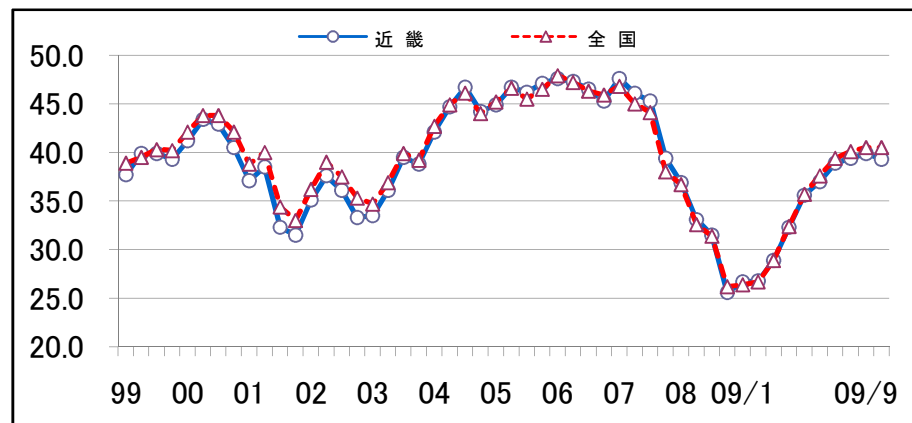
大型小売店売上高（前年同月比・09年9月まで）



（出所）近畿経済産業局

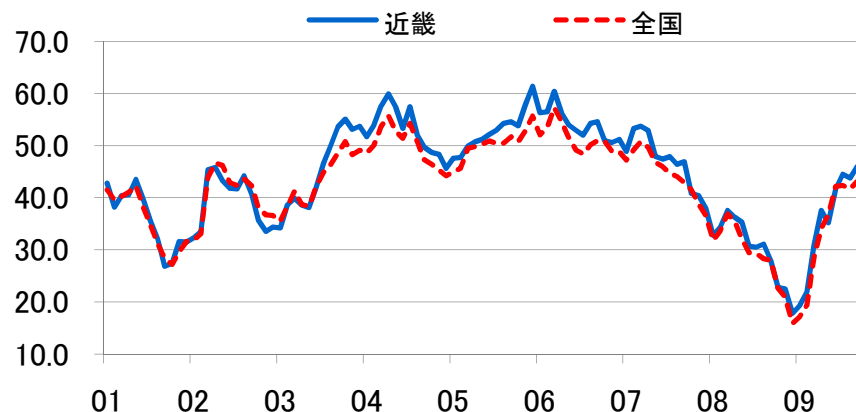
- ・ 近畿の09年9月の大型小売店売上高（既存店ベース）は前年同月比▲6.2%と18カ月連続のマイナス。前月(▲7.3%)からマイナス幅は縮小。生活防衛意識の高まりによる単価下落などが影響。全国は▲5.6%。
- ・ 百貨店は、前年同月比▲8.1%（全国▲7.8%）と19カ月連続のマイナス。商品別にみると、婦人服が不調だった「衣料品」（▲15.0%）、宝飾・貴金属などの高額品、化粧品等が不調だった「その他の商品」、(▲11.5%)、等全ての品目が前年を下回った。
- ・ スーパーは同▲4.9%（全国▲4.2%）と10カ月連続のマイナス。全ての品目で前年同月比マイナス。行楽用品等が不調だった「家庭用品」（▲20.6%）、パジャマ等が不調だった「その他衣料品」（▲26.6%）、等のマイナス幅が大きい。

消費者態度指数（一般世帯 原数値・09年10月まで）



- ・ 10月の近畿の消費者態度指数（一般世帯、原数値）は前月比▲0.6の39.3と10カ月ぶりの低下。全国は前月から横ばい。

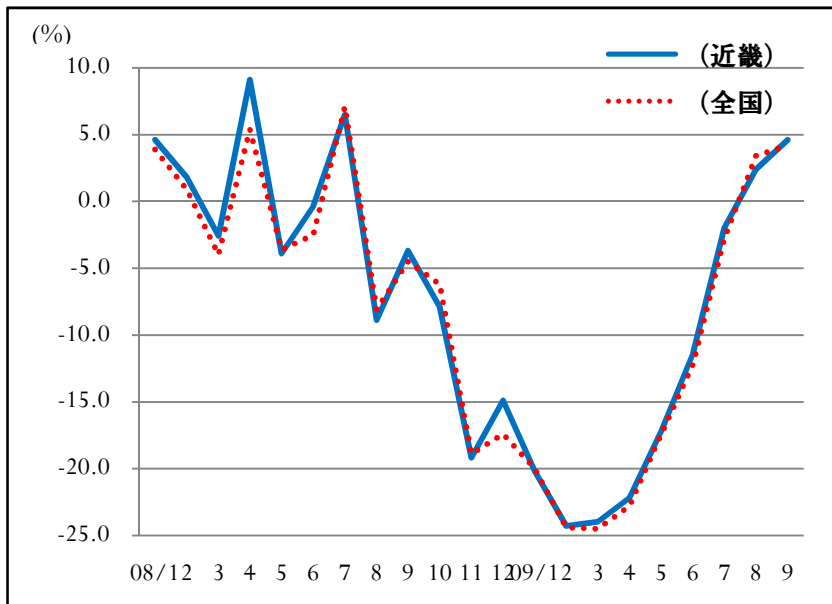
【参考】景気ウォッチャー調査（現状判断DI 09年10月まで）



- ・ 10月の近畿の現状判断DIは42.7で、5カ月ぶりに前月(46.0)から▲3.3ポイント低下。全国は前月比▲2.2ポイントの40.9。
- ・ エコポイント・エコ減税効果は継続しているものの、節約志向や、旅行関連を中心にシルバーウィークの反動が見られたことが原因。
- ・ 近畿の先行き判断DIは、前月比▲1.2の45.5。冬季賞与減額への懸念、価格競争の継続、新卒採用に対する懸念等から低下。

～個人消費～

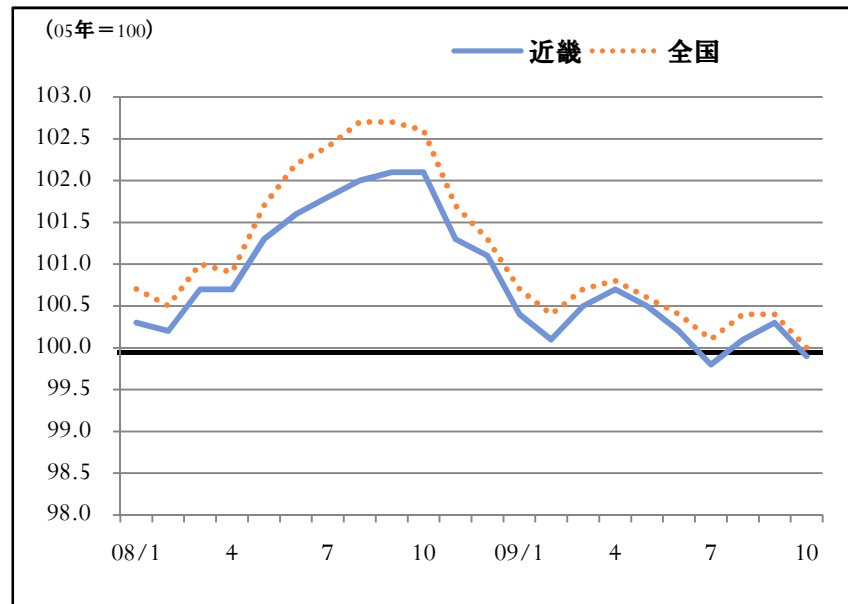
新車登録台数（前年同月比・09年9月まで）



（出所）近畿経済産業局

- ・ 近畿の09年9月の新車登録台数は、前年同月比+4.6%と、2カ月連続で前年を上回った。全国は同+4.1%。
- ・ 車種別では、普通車が前年同月比+14.1%と前年を大きく上回った。小型車は+6.5%と、普通車・小型車ともに3カ月連続で前年を上回った。減税の効果が大きく表れている。減税対象車の少ない軽四車のみ、▲7.8%と、10カ月連続で前年を下回った。

消費者物価指数（総合指数・09年10月まで）



（出所）総務省

- ・ 近畿の09年10月の消費者物価指数（総合指数）は99.9と前月比▲0.4%の低下。前年同月比では▲2.2%と、6カ月連続のマイナス。食料（酒を除く）及びエネルギーを除く総合指数は、前月比▲0.1%、前年同月比▲1.0%の低下。
- ・ 全国は100.0で、前月比▲0.4%、前年同月比では▲2.5%の低下。
- ・ 食料、教養娯楽などが下落に寄与している。

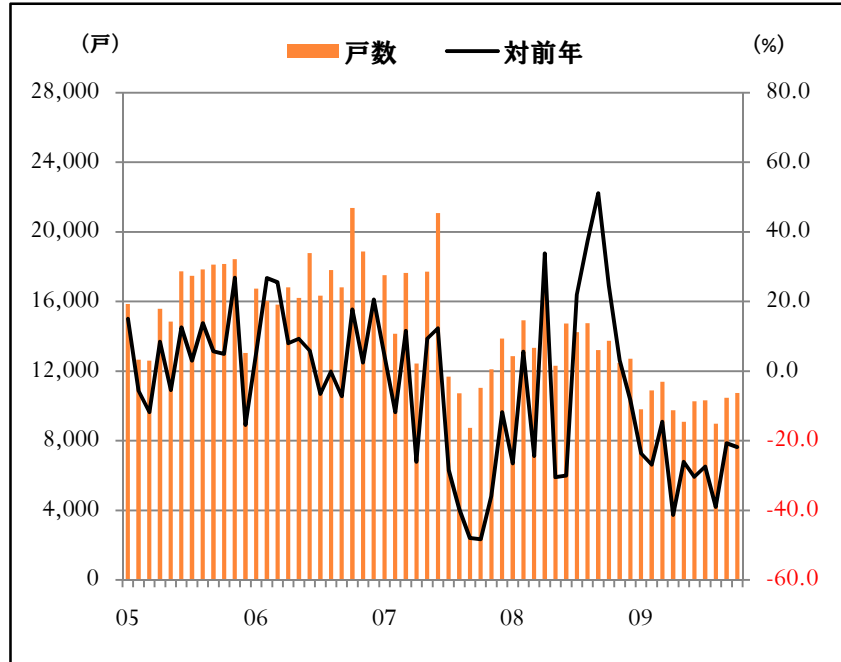
【参考—家電販売額】

- ・ 近畿の09年9月の家電販売額は前年同月比+9.4%と、2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 商品別では、空気清浄機+235.2%、カラーテレビ+38.2%、冷蔵庫+15.7%等が前年を上回った。マイナスだったのは、携帯電話▲14.4%、エアコン▲14.0%、電話・FAX▲11.5%、等。

（出所）GfKジャパン

～住宅投資～

新規住宅着工戸数（近畿・09年10月まで）

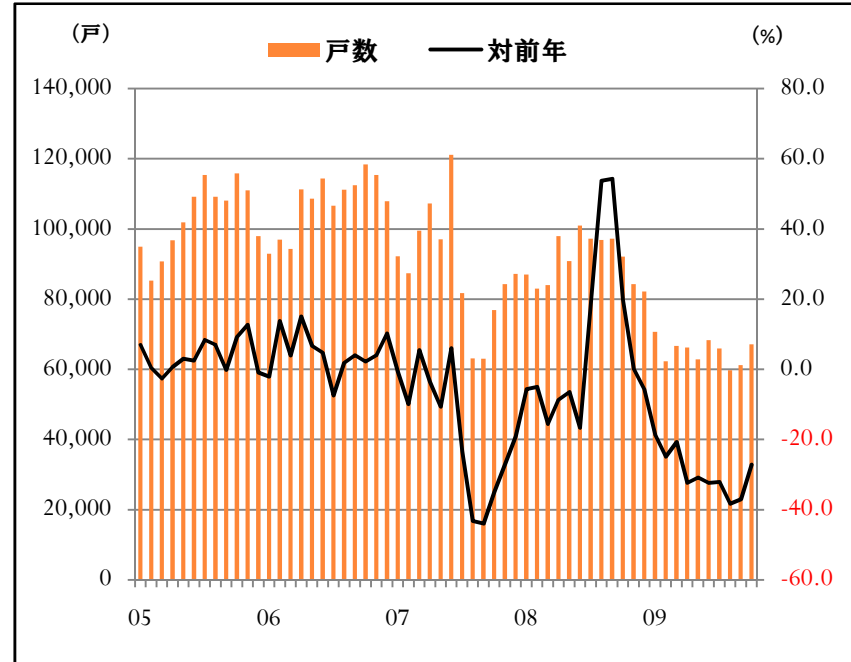


- ・近畿の新設住宅着工件数を見ると、10月は前年同月比▲21.8%と10カ月連続の減少。前月(▲20.7%)からマイナス幅は若干拡大。
- ・利用関係別の10月の対前年同月比を見ると、持家が+1.2%、貸家▲34.3%、分譲▲26.8%。分譲のうち、マンションが▲38.9%、一戸建て住宅が▲11.6%。持家が12カ月ぶりの増加。

【参考－近畿のマンション市場】

- ・近畿の09年10月の契約率は62.4%と、前月(60.9%)から上昇。6カ月連続の60%超。在庫は10月末時点で5,246戸。完成在庫の割合が増加している。

新規住宅着工戸数（全国・09年10月まで）



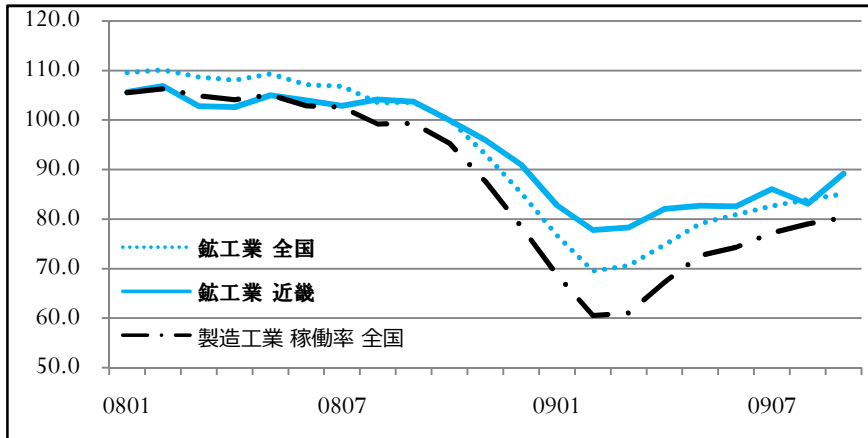
(出所) 国土交通省資料

- ・全国の新設住宅着工件数を見ると、10月は▲27.1%と10カ月連続の減少。前月(▲37.0%)からマイナス幅は縮小。
- ・利用関係別の10月の対前年同月比は、持家▲4.9%、貸家▲35.6%、分譲▲40.6%。分譲のうち、マンションが▲63.4%、一戸建て住宅が▲8.4%。すべてマイナス幅が縮小。

(出所) 不動産経済研究所資料

～設備投資～

鉱工業生産指数及び稼働率指数(季節調整値、2005=100)



製造営業用設備判断(製造業)

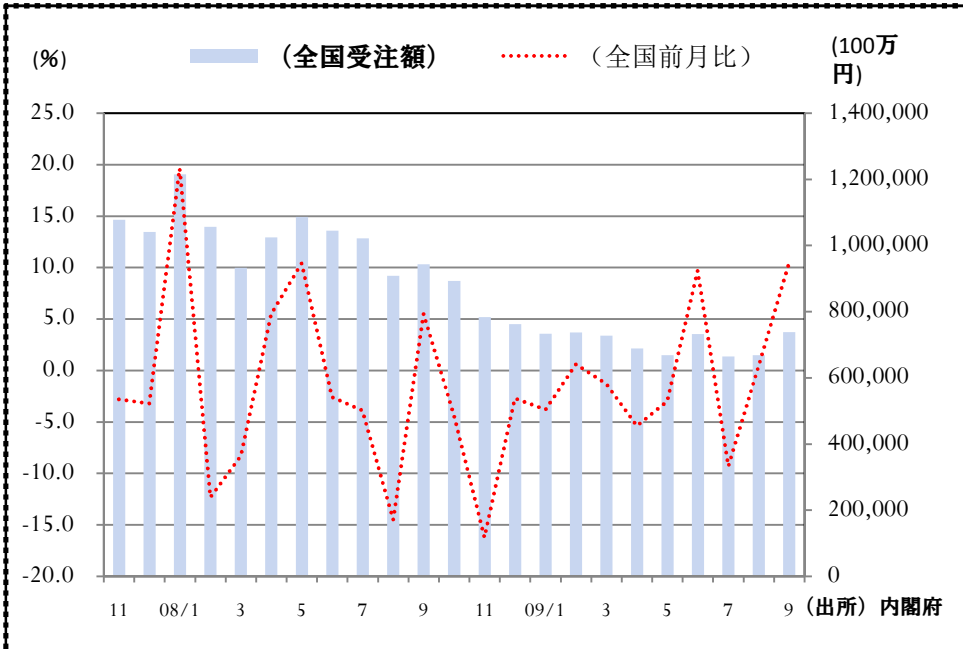
(出所) 経済産業省、近畿経済産業局
*「過剰」-「不足」

		08年12月:	09年3月:	09年6月:	09年9月:	09年12月:
近畿	実績	12	36	37	35	
	前回調査予測	(4)	(14)	(34)	(32)	(30)
全国	実績	14	36	36	34	
	前回調査予測	(4)	(20)	(35)	(32)	(30)

(出所) 日本銀行

- 全国の設備稼働率は09年2月を底に、生産の回復とともに緩やかに回復。ただし、水準は低い。
- 全国の7-9月民間企業設備は、GDP一次速報値によると前期比プラスとなった。先行きは、生産予測調査(前月比)で11月+3.3%、12月+1.0%と回復が続くこと、機械受注統計の10-12月期見通しがプラスであること等から、緩やかではあるが回復が続くと見込まれる。
- 近畿は、日銀短観の設備判断DI(過剰-不足)は、6月の37を最高に9月35、12月30(9月調査時の予測)と高水準だが、先行き過剰感是和らぐ見込み。また、生産指数も2月を底に持ち直しの動きが続く。

【参考】機械受注統計の推移(前月比 全国 09年9月実績まで)



○機械受注統計の動向(船舶・電力を除く民需 09年9月実績まで)

- ・09年9月の「船舶・電力を除く民需」の機械受注額は7,380億円。前月比+10.5%、2カ月連続で増加。
- ・製造業は前月比▲0.1%の2,343億円、非製造業(除く船舶・電力)は同 +18.0%の5,154億円となった。
- ・製造業を業種別に見ると、窯業・土石+53.6%、一般機械+32.5%、金属製品+21.5%、等で増加。
- ・10~12月の船舶・電力を除く民需の見通しは、前期比+1.0%。製造業が+0.4%、非製造業が+1.3%となっている。

～株式・長期金利～

日経平均株価(期中平均)・長期国債新発債流通利回(月末)
(09年10月まで)

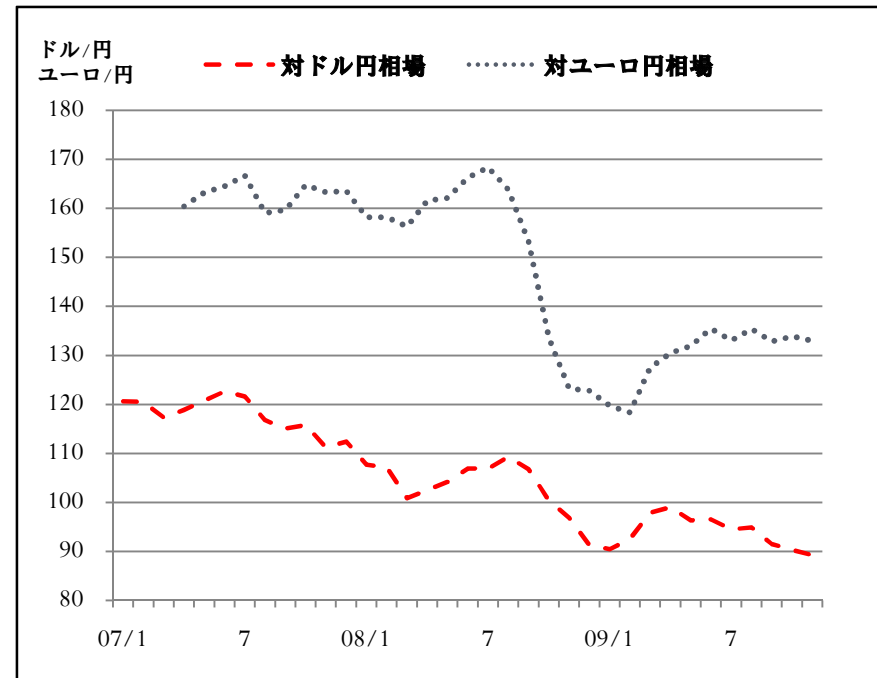


(出所) 日本銀行、日本経済新聞社

- ・11月の日経平均株価(期中平均)は 9640.99円で、10月より425.25円の下落。3カ月ぶりに1万円台を割った。
- ・11月末の長期国債(10年)新発債流通利回りは、年率1.26%、前月から+0.145%低下。

～為替相場～

為替相場の動き(期中平均値・09年11月まで)

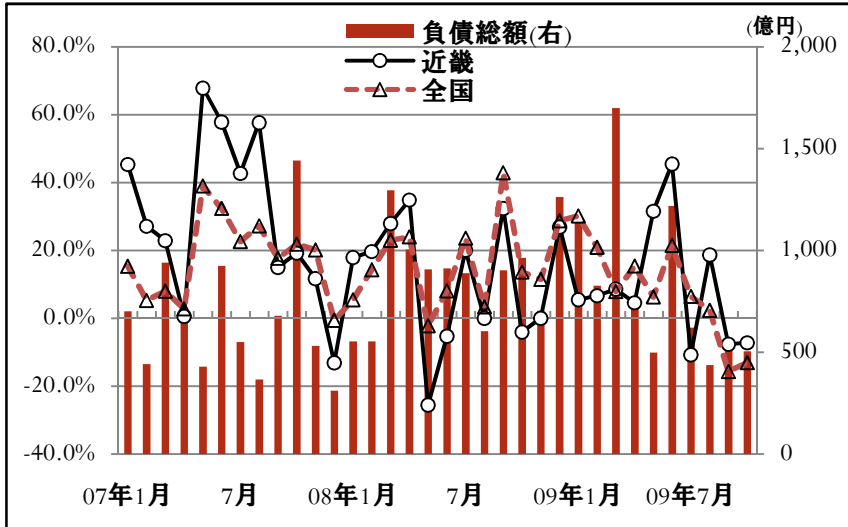


(出所) 日本経済新聞社

- ・11月の対ドル円相場(期中平均)は89.19円で、10月より1.1円の円高。
- ・対ユーロ円相場は132.98円で、10月より0.9円の円高であった。

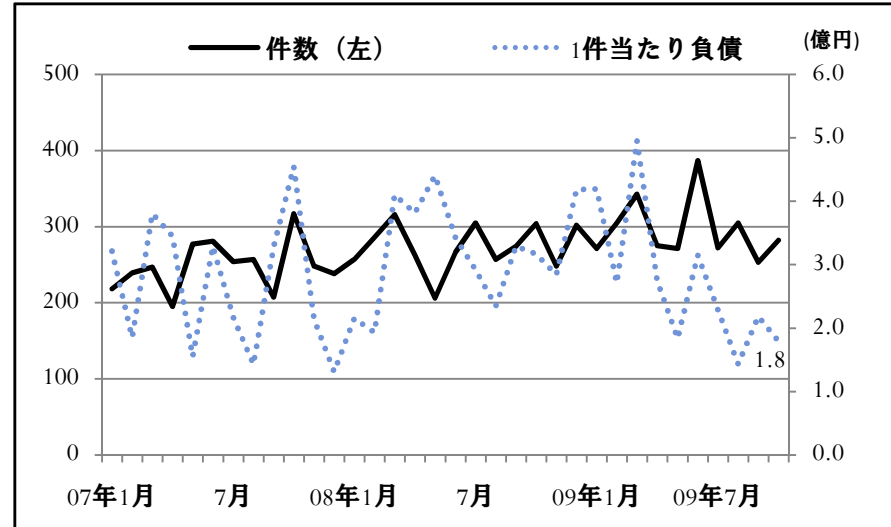
～倒産～

倒産件数・前年同月比の推移（07年1月～09年10月）



- ・09年10月の近畿の倒産件数は282件（前年同月比▲7.2%、前月比+11.5%）。
- ・近畿の負債総額は、前月比▲8.7%の505億円。
- ・全国は1070件（前年同月比▲13.1%、前月比+13.1%）、負債総額は2,513億円（前月比▲29.8%）。

近畿の倒産件数と1件当たり負債額の推移



（出所）帝国データバンク

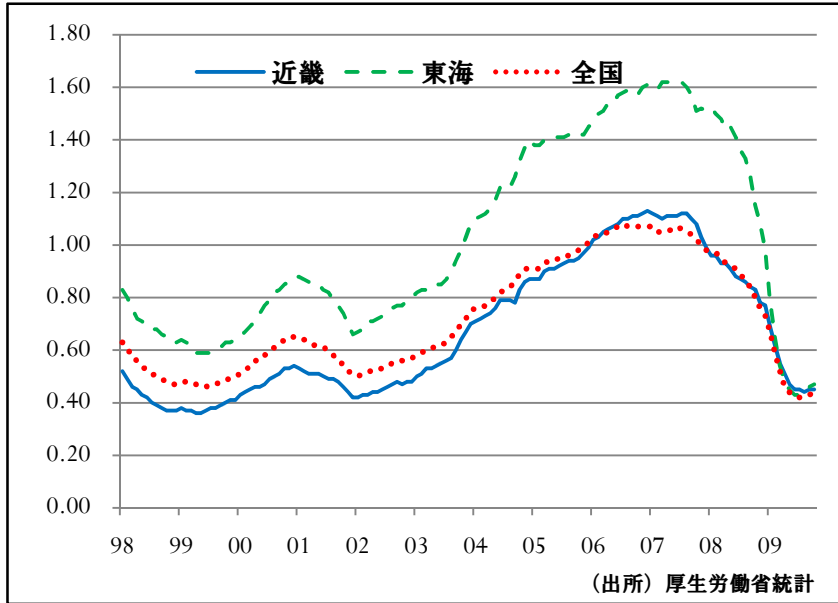
- ・資本金1000万円以下の企業が全体の59.6%、負債額1億円未満の倒産が68.8%を占めるなど、引き続き小規模零細倒産が多発。100億円以上の倒産は3カ月連続で発生せず。
- ・販売・受注不振、輸出不振、不良債権の累積、業界不振を主因とする不況型倒産は245件、全体の86.9%で、24カ月連続の80%超となった。

09年9月以降の近畿の大型倒産

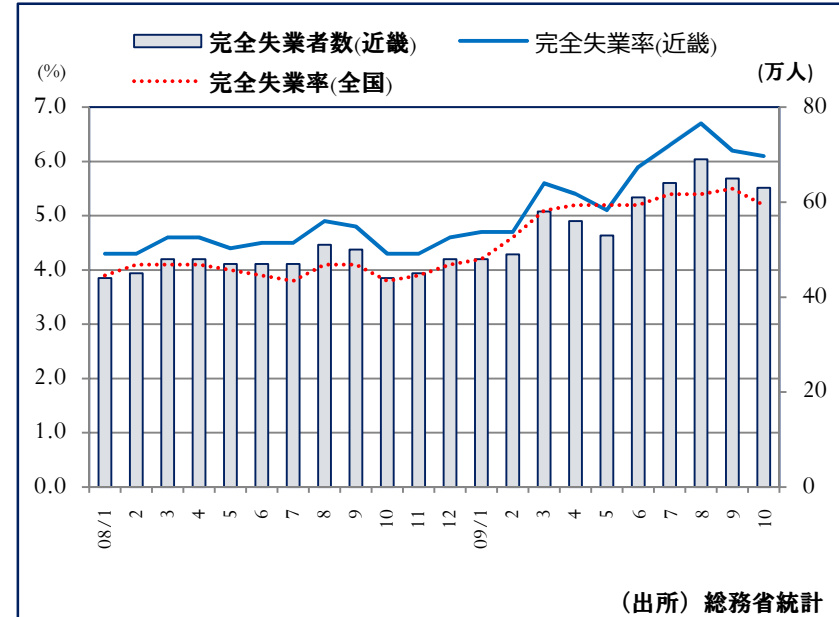
				(負債総額・億円)	
9月	シルバーオックス(株)	大阪	下着類卸	※東証・大証1部上場	57
	(株)二上鉄工所	大阪	印刷製本機械等製造		67
	(医)博愛会	兵庫	病院・介護施設運営		48
	(株)トップチェーン	兵庫	衣料品小売店経営		40
10月	和光化学工業(株)	大阪	ガラス容器塗装他		35
	ニシマツコーポレーション(株)	大阪	戸建住宅分譲他		40
	鶴崎高橋組	兵庫	住宅建築工事		33

～雇用～

有効求人倍率の推移（09年10月まで）



完全失業率の推移（原数値、09年10月まで）



地域別有効求人倍率（09年10月：下段は前月比）

全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
0.44	0.38	0.35	0.46	0.44	0.49	0.47	0.45	0.55	0.56	0.39
0.01	0.02	0.01	0.01	0.04	0.02	0.01	0.00	0.01	0.02	0.01

- ・ 09年10月の近畿の有効求人倍率は0.45倍、前月から横ばい。63年以降の最低値は99年4～5月の0.36。
- ・ 全国は0.44倍で、2カ月連続の上昇。地域別に見ると、近畿のみ横ばい、その他の地域はすべて前月から上昇。

- ・ 09年10月の近畿の完全失業率（原数値）は6.1%で、前月(6.2%)から0.1ポイント低下。2カ月連続の改善。全国は5.2%で前月(5.5%)から0.3ポイント改善。
- ・ 全国10月の季節調整値は5.1%で、前月(5.3%)から0.2ポイント低下。7月に過去最悪を更新した後、3カ月連続の改善。
- ・ 83年以降、失業率の最悪の値（原数値）は、近畿7.1%(02年7～9月期)、全国5.5%(02年4～6月期、03年1～3月期、4～6月期)。